

注3

大学番号：162

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

朝日大学 保健医療学部 健康スポーツ科学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人朝日大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学事第一部学事一課

職名・氏名 課長補佐 宝田直樹

電話番号 058-329-1177

（夜間） 058-329-1111

F A X 058-329-1084

e-mail sports-jim@alice.asahi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健医療学部

<健康スポーツ科学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人朝日大学

## (2) 大学名

朝日大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒501-0296  
岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミヤタ ジュン) 宮田 淳 (平成26年4月)		
学長	(オオトモ カツユキ) 大友 克之 (平成20年10月)		
学部長	(フジモト ジロウ) 藤本 次良 (平成27年4月)	(コジマ タカオ) 小島 孝雄 (平成30年4月)	業務都合により変更 (30)
学科長等	(タケシマ ノブオ) 竹島 伸生 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
 (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)  
 令和元年度に報告する内容 → (元)  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 健康スポーツ科学科 学士 (健康スポーツ科学)	体育関係	4年	120人	0人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 120 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 120 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 120 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.13倍	[ - ]倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	177 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	164 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	174 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	175 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	159 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	170 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	163 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	151 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	156 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	150 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	128 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	132 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.25		1.06		1.1				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					150 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	135 [ 2 ] ( 7 )	- [ - ] ( - )	136 [ 2 ] ( 4 )	- [ - ] ( - )	
2年次							135 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	122 [ 1 ] ( 2 )	- [ - ] ( - )	
3年次									130 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次											
計	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	150 [ 1 ] ( - )	[ - ] ( - )	270 [ 2 ] ( 7 )	[ - ] ( - )	388 [ 3 ] ( 6 )	[ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	150人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度			
平成30年度	270人	8人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	8人	1人	就学意欲の低下及び家庭の事情(7名)、除籍(1名)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	388人	14人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	9人	人	就学意欲の低下及び家庭の事情(8名)、除籍(1名)
			平成30年度	5人	1人	就学意欲の低下及び家庭の事情(5名)
			令和元年度	人	人	
合計		22人		22人	2人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{150} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{270} = \boxed{2.96} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{388} = \boxed{3.6} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 健康スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養 基礎 科目	建学の精神と社会生活	1前	2								5
	哲学	1-2-3-4前	2								1
	歴史学	1-2-3-4後	2								1
	心理学	1-2-3-4前	2								1
	法学(含、日本国憲法)	1-2-3-4後	2								1
	政治学	1-2-3-4前	2								1
	経済学	1-2-3-4前	2								1
	物理学	1-2-3-4前	2								1
	化学	1-2-3-4前	2								1
	生物学	1-2-3-4後	2								1
	統計学	1-2-3-4後	2								1
	異文化理解	1-2-3-4後	2								1
	コミュニケーション論	1-2-3-4後	2								1
	プレゼンテーション論	1-2-3-4後	2								1
	英語 I	1前	1			1					2
	英語 II	1後	1			1					2
	英語コミュニケーション I	1前	1			1					2
	英語コミュニケーション II	1後	1			1					2
	英語コミュニケーション III	2前	1			1					2
	英語コミュニケーション IV	2後	1			1					2
	健康・体力科学	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ I	1-2-3-4前	1						4		1
	スポーツ II	1-2-3-4後	1						4		1
	情報処理基礎 I	1前	1			1					2
	情報処理基礎 II	1後	1			1					2
	情報リテラシー	2前	2			1					
小計(26科目)	-	8	34	0	1	1	0	4	0	21	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養 基礎 科目	建学の精神と社会生活	1前	2								5
	哲学	1-2-3-4前・後	2								1
	歴史学	1-2-3-4後	2								1
	心理学	1-2-3-4前・後	2								1
	法学(含、日本国憲法)	1-2-3-4後	2								1
	政治学	1-2-3-4後	2								1
	経済学	1-2-3-4後	2								1
	物理学	1-2-3-4前	2								1
	化学	1-2-3-4前	2								1
	生物学	1-2-3-4後	2								1
	統計学	1-2-3-4後	2								1
	異文化理解	1-2-3-4後	2								1
	コミュニケーション論	1-2-3-4前	2								1
	プレゼンテーション論	1-2-3-4前	2								1
	英語 I	1前	1					1			4
	英語 II	1後	1					1			4
	英語コミュニケーション I	1前	1					1			4
	英語コミュニケーション II	1後	1					1			4
	英語コミュニケーション III	2前	1					1			0
	英語コミュニケーション IV	2後	1					1			0
	健康・体力科学	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ I	1-2-3-4前	1							4	1
	スポーツ II	1-2-3-4後	1							4	1
	情報処理基礎 I	1前	1					1			3
	情報処理基礎 II	1後	1					1			3
	情報リテラシー	2後	2					1			
小計(26科目)	-	8	34	0	1	1	0	4	0	25	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	スポーツ科学入門	1前	2			1						
	リーダーシップ論	1後	2									
	基礎演習Ⅰ	1前	2			6	7		5			
	基礎演習Ⅱ	1後	2			6	7		5			
	運動生理学	1前	2			1						
	スポーツと薬学	1前	2								2	
	解剖・生理学	1前	2								1	
	体育・スポーツ史	1前	2								1	
	運動学(含、運動方法学)	1後	2			1						
	体育・スポーツ哲学	1後	2				1					
	ヘルスプロモーション	2前	2			1						
	スポーツ医学	2前	2			1						
	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	2前	2			1						
	スポーツ歯科医学	2後	2								3	
	スポーツ経営・管理学	2後	2									
	専門演習Ⅰ	2前	2			5	6		5			
	専門演習Ⅱ	2後	2			5	6		5			
	専門演習Ⅲ	3前	2			5	6		5			
	専門演習Ⅳ	3後	2			5	6		5			
	専門演習Ⅴ	4前	2			5	6		5			
専門演習Ⅵ	4後	2			5	6		5				
スポーツ実技Ⅰ(体づくり運動)	1前・後	1					2					
スポーツ実技Ⅱ(水泳)	1前・後	1							2			
スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	2前・後	1			1					1		
スポーツ実技Ⅳ(陸上)	2前・後	1			1	1		1				
スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	2前・後	1			1	1						
スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)	2前・後	1						1			1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	スポーツ科学入門	1前	2			1						
	リーダーシップ論	1後	2						1			
	基礎演習Ⅰ	1前	2			5	4		1	8		
	基礎演習Ⅱ	1後	2			5	4		1	8		
	運動生理学	1前	2			1						
	スポーツと薬学	1後	2									2
	解剖・生理学	1前	2									1
	体育・スポーツ史	1前	2									1
	運動学(含、運動方法学)	1後	2			1						
	体育・スポーツ哲学	1後	2				1					
	ヘルスプロモーション	2後	2			1						
	スポーツ医学	2前	2			1						
	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	2前	2			1						
	スポーツ歯科医学	2後	2									3
	スポーツ経営・管理学	2後	2						1			
	専門演習Ⅰ	2前	2			6	5		1	8		
	専門演習Ⅱ	2後	2			6	5		1	8		
	専門演習Ⅲ	3前	2			6	5		1	8		
	専門演習Ⅳ	3後	2			6	5		1	8		
	専門演習Ⅴ	4前	2			6	5		1	8		
専門演習Ⅵ	4後	2			6	5		1	8			
スポーツ実技Ⅰ(体づくり運動)	1前・後	1						1				
スポーツ実技Ⅱ(水泳)	1前・後	1								2		
スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	2前・後	1			1			1			0	
スポーツ実技Ⅳ(陸上)	2前・後	1			1	1		1	1			
スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	2前・後	1			1	1						
スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)	2前・後	1								1	1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	スポーツ実技Ⅶ (バレーボール、バ スケットボール)	3前・後	1			1	1		1			
	スポーツ実技Ⅷ (硬式テニス、卓 球)	3前・後	1				1				1	
	スポーツ実技Ⅸ (柔道、剣道)	3前・後		1							1	
	スポーツ実技Ⅹ (ダンス)	3前・後		1							1	
	スポーツバイオメカ ニクス	2前	2				1					
	スポーツ生理学	2前	2				1					
	トレーニング論	2前	2				1					
	コーチング論	2前	2				1					
	コンディショニング 論	3前	2				1					
	スポーツ社会学	3前	2						1			
	衛生・公衆衛生学	3前	2							1		
	スポーツ栄養学	3後	2					1				
	スポーツと法	3後	2								2	
	インターンシップⅠ	2前・後	2			5	6		5			
	インターンシップⅡ	3前・後	2			5	6		5			
	キャリア形成Ⅰ	2前・後	2			5	6		5			
	キャリア形成Ⅱ	3前・後	2			5	6		5			
	生涯スポーツ論	2前	2				1					
	エイジング論	2前	2			1						
	障がい者スポーツ 論	2前	2								1	
障がい者スポーツ 論実習	2後	1								1		
健康運動論	3前	2			1							
女性とスポーツ	3前	2				1						
アスレティック レーナー概論	3前	2				1						
レクリエーション論	3前	2			1							
健康運動指導法	3前	2				1						
スポーツ産業論	3前	2			1							

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 科目	スポーツ実技Ⅶ (バレーボール、バ スケットボール)	3前・後	1			1	1		1		
	スポーツ実技Ⅷ (硬式テニス、卓 球)	3前・後	1				1				1
	スポーツ実技Ⅸ (柔道、剣道)	3前・後		1							1
	スポーツ実技Ⅹ (ダンス)	3前・後		1							0
	スポーツバイオメカ ニクス	2後	2				1				
	スポーツ生理学	2前	2				1				
	トレーニング論	2前	2				1				
	コーチング論	2前	2				1				
	コンディショニング 論	3前	2				1				
	スポーツ社会学	3前	2						1		
	衛生・公衆衛生学	3前	2							1	
	スポーツ栄養学	3後	2					1			
	スポーツと法	3後	2								2
	インターンシップⅠ	2前・後	2			6	5	1	8		
	インターンシップⅡ	3前・後	2			6	5	1	8		
	キャリア形成Ⅰ	2前・後	2			6	5	1	5		
	キャリア形成Ⅱ	3前・後	2			6	5	1	5		
	生涯スポーツ論	2前	2				1				
	エイジング論	2後	2			1					
	障がい者スポーツ 論	2前	2								1
障がい者スポーツ 論実習	2後	1								1	
健康運動論	3前	2			1						
女性とスポーツ	3前	2				1					
アスレティック レーナー概論	3前	2				1					
レクリエーション論	3前	2			1						
健康運動指導法	3前	2				1					
スポーツ産業論	3前	2			1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	スポーツマネジメント	3後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2			1					
	レクリエーション指導実習Ⅰ	3前		1		1	1					
	レクリエーション指導実習Ⅱ	3後		1		1	1					
	野外活動論	3後		2			1					
	体力測定評価法	3後		2								1
	スポーツ実技Ⅱ (スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	3前・後		1		5	5		5			
	運動器の機能解剖学	2前		2			1					
	スポーツ科学英語	2前		2			1					
	スポーツ教育学	2前		2			1					
	発育発達論	2後		2			1					
	スポーツ心理学実験実習	3前		1			1	1				
	スポーツ生理学実験実習	3前		1				2				
	スポーツ社会学実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツバイオメカニクス実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツ行政論	3前		2						1		
	安全教育	3前		2								
	学校保健	3後		2								1
	体育実技指導法Ⅰ (陸上、水泳)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅱ (球技)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅲ (格技)	3後		2				1				
	体育実技指導法Ⅳ (器械運動)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅴ (ダンス・体づくり運動)	3後		2							1	
	スポーツオノマトペ	3後		2				1				
	卒業研究	4通		4			5	6		5		
	小計(79科目)	-		76	66	0	7	7	0	5	0	17

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	スポーツマネジメント	3後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2			1					
	レクリエーション指導実習Ⅰ	3前		1			1	1				
	レクリエーション指導実習Ⅱ	3後		1			1	1				
	野外活動論	3後		2				1				
	体力測定評価法	3後		2								1
	スポーツ実技Ⅱ (スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	3前・後		1			6	4		8		
	運動器の機能解剖学	2前		2			1					
	スポーツ科学英語	2前		2			1					
	スポーツ教育学	2前		2			1					
	発育発達論	2前		2			1					
	スポーツ心理学実験実習	3前		1			1	1				
	スポーツ生理学実験実習	3前		1				2				
	スポーツ社会学実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツバイオメカニクス実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツ行政論	3前		2						1		
	安全教育	3前		2								1
	学校保健	3後		2							1	
	体育実技指導法Ⅰ (陸上、水泳)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅱ (球技)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅲ (格技)	3後		2				1				
	体育実技指導法Ⅳ (器械運動)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅴ (ダンス・体づくり運動)	3後		2							1	
	スポーツオノマトペ	3後		2				1				
	卒業研究	4通		4			6	5	1	8		
	小計(79科目)	-		76	66	0	7	5	1	8	0	16

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	教職入門	1前			2						1
	教育原理	1後			2						1
	教育心理学	2後			2						1
	教育制度論	2後			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	保健体育科教育法 I	3前			2	1					
	保健体育科教育法 II	3後			2		1				
	保健体育科教育法 III	3前			2		1				
	保健体育科教育法 IV	3後			2		1				
	道徳教育の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3後			2						1
	教育の方法と技術	2後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2						1
	教育相談	2後			2						1
	教育実習指導	3前			1						3
	教育実習 I	3後			2						3
	教育実習 II	4前			2						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	介護等体験	2・3・4前・後			2						1
小計(19科目)	-	0	0	37	1	1	0	0	0	4	
合計(124科目)	-	84	100	37	7	7	0	5	0	42	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上(教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上)を修得し、124単位以上を修得すること。スポーツ実技Ⅺ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)を履修する場合は、1種目を選択履修すること。スポーツ心理学実験実習、スポーツ生理学実験実習、スポーツ社会学実験実習、スポーツバイオメカニクス実験実習の4科目から2科目を選択履修すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	教職入門	1前			2						1
	教育原理	1後			2						1
	教育心理学	2前			2						1
	教育制度論	2後			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	保健体育科教育法 I	2前			2	1					
	保健体育科教育法 II	2後			2		1				
	保健体育科教育法 III	3前			2		1				
	保健体育科教育法 IV	3後			2		1				
	道徳教育の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3後			2						1
	教育の方法と技術	2後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2						1
	教育相談	2後			2						1
	教育実習指導	3前			1						3
	教育実習 I	3後			2						3
	教育実習 II	4前			2						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	介護等体験	2・3・4前・後			2						1
小計(19科目)	-	0	0	37	1	1	0	0	0	4	
合計(124科目)	-	84	100	37	8	6	1	8	0	45	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上(教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上)を修得し、124単位以上を修得すること。スポーツ実技Ⅺ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)を履修する場合は、1種目を選択履修すること。スポーツ心理学実験実習、スポーツ生理学実験実習、スポーツ社会学実験実習、スポーツバイオメカニクス実験実習の4科目から2科目を選択履修すること。 (履修科目の登録の上限:44単位(年間))											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目	建学の精神と社会生活	1前	2								5
	哲学	1-2-3-4前・後	2								1
	歴史学	1-2-3-4後	2								1
	心理学	1-2-3-4前・後	2								1
	法学(含、日本国憲法)	1-2-3-4後	2								1
	政治学	1-2-3-4前	2								1
	経済学	1-2-3-4後	2								1
	物理学	1-2-3-4前	2								1
	化学	1-2-3-4前	2								1
	生物学	1-2-3-4後	2								1
	統計学	1-2-3-4後	2								1
	異文化理解	1-2-3-4後	2								1
	コミュニケーション論	1-2-3-4前	2								1
	プレゼンテーション論	1-2-3-4前	2								1
	英語 I	1前	1				1				3
	英語 II	1後	1				1				3
	英語コミュニケーション I	1前	1				1				3
	英語コミュニケーション II	1後	1				1				3
	英語コミュニケーション III	2前	1				1				2
	英語コミュニケーション IV	2後	1				1				2
	健康・体力科学	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ I	1-2-3-4前	1						4		1
	スポーツ II	1-2-3-4後	1						4		1
	情報処理基礎 I	1前	1			1					3
	情報処理基礎 II	1後	1			1					3
	情報リテラシー	2前	2			1					
小計(26科目)	-	8	34	0	1	1	0	4	0	23	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基礎科目	建学の精神と社会生活	1前	2								5
	哲学	1-2-3-4前・後	2								1
	歴史学	1-2-3-4後	2								1
	心理学	1-2-3-4前・後	2								1
	法学(含、日本国憲法)	1-2-3-4後	2								1
	政治学(未開講)	1-2-3-4前	2								
	経済学	1-2-3-4後	2								1
	物理学	1-2-3-4前	2								1
	化学	1-2-3-4前	2								1
	生物学	1-2-3-4後	2								1
	統計学	1-2-3-4後	2								1
	異文化理解	1-2-3-4後	2								1
	コミュニケーション論	1-2-3-4前	2								1
	プレゼンテーション論	1-2-3-4前	2								1
	英語 I	1前	1				1				4
	英語 II	1後	1				1				4
	英語コミュニケーション I	1前	1				1				4
	英語コミュニケーション II	1後	1				1				4
	英語コミュニケーション III	2前	1				1				0
	英語コミュニケーション IV	2後	1				1				0
	健康・体力科学	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ I	1-2-3-4前	1							4	1
	スポーツ II	1-2-3-4後	1							4	1
	情報処理基礎 I	1前	1			1					3
	情報処理基礎 II	1後	1			1					3
	情報リテラシー	2後	2			1					
小計(26科目)	-	8	34	0	1	1	0	4	0	24	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	スポーツ科学入門	1前	2			1						
	リーダーシップ論	1後	2				1					
	基礎演習Ⅰ	1前	2			4	5	1	7			
	基礎演習Ⅱ	1後	2			4	5	1	7			
	運動生理学	1前	2			1						
	スポーツと薬学	1後	2								2	
	解剖・生理学	1前	2								1	
	体育・スポーツ史	1前	2								1	
	運動学(含、運動方法学)	1後	2			1						
	体育・スポーツ哲学	1後	2				1					
	ヘルスプロモーション	2前	2			1						
	スポーツ医学	2前	2			1						
	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	2前	2			1						
	スポーツ歯科医学	2後	2								3	
	スポーツ経営・管理学	2後	2			1						
	専門演習Ⅰ	2前	2			5	6	1	6			
	専門演習Ⅱ	2後	2			5	6	1	6			
	専門演習Ⅲ	3前	2			5	6		6			
	専門演習Ⅳ	3後	2			5	6		6			
	専門演習Ⅴ	4前	2			5	6	1	6			
専門演習Ⅵ	4後	2			5	6	1	6				
スポーツ実技Ⅰ(体づくり運動)	1前・後	1				1						
スポーツ実技Ⅱ(水泳)	1前・後	1						2				
スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	2前・後	1			1					1		
スポーツ実技Ⅳ(陸上)	2前・後	1			1	1		1				
スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	2前・後	1			1	1						
スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)	2前・後	1						1		1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	スポーツ科学入門	1前	2			1						
	リーダーシップ論	1後	2					1				
	基礎演習Ⅰ	1前	2			4	5	1	7			
	基礎演習Ⅱ	1後	2			4	5	1	7			
	運動生理学	1前	2			1						
	スポーツと薬学	1後	2									2
	解剖・生理学	1前	2								1	
	体育・スポーツ史	1前	2								1	
	運動学(含、運動方法学)	1後	2			1						
	体育・スポーツ哲学	1後	2				1					
	ヘルスプロモーション	2後	2			1						
	スポーツ医学	2前	2			1						
	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	2前	2			1						
	スポーツ歯科医学	2後	2									3
	スポーツ経営・管理学	2後	2			1						
	専門演習Ⅰ	2前	2			5	6	0	6			
	専門演習Ⅱ	2後	2			5	6	0	6			
	専門演習Ⅲ	3前	2			5	6		6			
	専門演習Ⅳ	3後	2			5	6		6			
	専門演習Ⅴ	4前	2			5	6	1	6			
専門演習Ⅵ	4後	2			5	6	1	6				
スポーツ実技Ⅰ(体づくり運動)	1前・後	1					1					
スポーツ実技Ⅱ(水泳)	1前・後	1							2			
スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	2前・後	1			1						0	
スポーツ実技Ⅳ(陸上)	2前・後	1			1	1		1				
スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	2前・後	1			1	1						
スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)	2前・後	1							1		1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	スポーツ実技Ⅵ (バレーボール、バスケットボール)	3前・後	1			1	1		1		
	スポーツ実技Ⅶ (硬式テニス、卓球)	3前・後	1				1				1
	スポーツ実技Ⅷ (柔道、剣道)	3前・後		1							1
	スポーツ実技Ⅹ (ダンス)	3前・後		1							1
	スポーツバイオメカニクス	2前	2				1				
	スポーツ生理学	2前	2				1				
	トレーニング論	2前	2				1				
	コーチング論	2前	2				1				
	コンディショニング論	3前	2				1				
	スポーツ社会学	3前	2						1		
	衛生・公衆衛生学	3前	2							1	
	スポーツ栄養学	3後	2						1		
	スポーツと法	3後	2								2
	インターンシップⅠ	2前・後		2			5	6	1	6	
	インターンシップⅡ	3前・後		2			5	6	1	6	
	キャリア形成Ⅰ	2前・後		2			5	6	1	7	
	キャリア形成Ⅱ	3前・後		2			5	6	1	7	
	生涯スポーツ論	2前		2				1			
	エイジング論	2前		2			1				
	障がい者スポーツ論	2前		2							1
	障がい者スポーツ論実習	2後		1							1
	健康運動論	3前		2			1				
	女性とスポーツ	3前		2				1			
	アスレティックトレーナー概論	3前		2				1			
	レクリエーション論	3前		2			1				
	健康運動指導法	3前		2				1			
スポーツ産業論	3前		2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	スポーツ実技Ⅵ (バレーボール、バスケットボール)	3前・後	1			1	1		1		
	スポーツ実技Ⅶ (硬式テニス、卓球)	3前・後	1				1				1
	スポーツ実技Ⅷ (柔道、剣道)	3前・後		1							1
	スポーツ実技Ⅹ (ダンス)	3前・後		1							1
	スポーツバイオメカニクス	2後	2				1				
	スポーツ生理学	2前	2				1				
	トレーニング論	2前	2				1				
	コーチング論	2前	2				1				
	コンディショニング論	3前	2				1				
	スポーツ社会学	3前	2						1		
	衛生・公衆衛生学	3前	2							1	
	スポーツ栄養学	3後	2						1		
	スポーツと法	3後	2								2
	インターンシップⅠ	2前・後		2			5	6	1	6	
	インターンシップⅡ	3前・後		2			5	6	1	6	
	キャリア形成Ⅰ	2前・後		2			5	6	1	5	
	キャリア形成Ⅱ	3前・後		2			5	6	1	5	
	生涯スポーツ論	2前		2				1			
	エイジング論	2後		2			1				
	障がい者スポーツ論	2前		2							1
	障がい者スポーツ論実習	2後		1							1
	健康運動論	3前		2			1				
	女性とスポーツ	3前		2				1			
	アスレティックトレーナー概論	3前		2				1			
	レクリエーション論	3前		2			1				
	健康運動指導法	3前		2				1			
スポーツ産業論	3前		2			1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	スポーツマネジメント	3後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2			1					
	レクリエーション指導実習Ⅰ	3前		1		1	1					
	レクリエーション指導実習Ⅱ	3後		1		1	1					
	野外活動論	3後		2			1					
	体力測定評価法	3後		2								1
	スポーツ実技Ⅱ (スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	3前・後		1		5	5		6			
	運動器の機能解剖学	2前		2			1					
	スポーツ科学英語	2前		2			1					
	スポーツ教育学	2前		2			1					
	発育発達論	2後		2			1					
	スポーツ心理学実験実習	3前		1			1	1				
	スポーツ生理学実験実習	3前		1				2				
	スポーツ社会学実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツバイオメカニクス実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツ行政論	3前		2						1		
	安全教育	3前		2								
	学校保健	3後		2								1
	体育実技指導法Ⅰ (陸上、水泳)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅱ (球技)	3後		2			1					
体育実技指導法Ⅲ (格技)	3後		2				1					
体育実技指導法Ⅳ (器械運動)	3後		2			1						
体育実技指導法Ⅴ (ダンス・体づくり運動)	3後		2						1			
スポーツオノマトペ	3後		2			1						
卒業研究	4通		4			5	6	1	6			
小計(79科目)	-		76	66	0	6	6	1	7	0	17	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	スポーツマネジメント	3後		2			1					
	アスレティックリハビリテーション論	3後		2			1					
	レクリエーション指導実習Ⅰ	3前		1			1	1				
	レクリエーション指導実習Ⅱ	3後		1			1	1				
	野外活動論	3後		2			1					
	体力測定評価法	3後		2								1
	スポーツ実技Ⅱ (スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	3前・後		1			5	5		6		
	運動器の機能解剖学	2前		2			1					
	スポーツ科学英語	2前		2			1					
	スポーツ教育学	2前		2			1					
	発育発達論	2前		2			1					
	スポーツ心理学実験実習	3前		1			1	1				
	スポーツ生理学実験実習	3前		1				2				
	スポーツ社会学実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツバイオメカニクス実験実習	3後		1			1	1		1		
	スポーツ行政論	3前		2								1
	安全教育	3前		2								
	学校保健	3後		2								1
	体育実技指導法Ⅰ (陸上、水泳)	3後		2			1					
	体育実技指導法Ⅱ (球技)	3後		2			1					
体育実技指導法Ⅲ (格技)	3後		2				1					
体育実技指導法Ⅳ (器械運動)	3後		2			1						
体育実技指導法Ⅴ (ダンス・体づくり運動)	3後		2						1			
スポーツオノマトペ	3後		2			1						
卒業研究	4通		4			5	6	1	6			
小計(79科目)	-		76	66	0	6	6	1	7	0	16	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	教職入門	1前			2						1
	教育原理	1後			2						1
	教育心理学	2後			2						1
	教育制度論	2後			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	3前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅱ	3後			2		1				
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2		1				
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1				
	道徳教育の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3後			2						1
	教育の方法と技術	2後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2						1
	教育相談	2後			2						1
	教育実習指導	3前			1						3
	教育実習Ⅰ	3後			2						3
	教育実習Ⅱ	4前			2						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	介護等体験	2・3・4前・後			2						1
小計(19科目)	-	0	0	37	1	1	0	0	0	4	
合計(124科目)	-	84	100	37	7	7	1	7	0	44	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上(教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上)を修得し、124単位以上を修得すること。スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)を履修する場合は、1科目を選択履修すること。スポーツ心理学実験実習、スポーツ生理学実験実習、スポーツ社会学実験実習、スポーツバイオメカニクス実験実習の4科目から2科目を選択履修すること。											
(履修科目の登録の上限:44単位(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	教職入門	1前			2						1
	教育原理	1後			2						1
	教育心理学	2前			2						1
	教育制度論	2後			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	保健体育科教育法Ⅰ	2前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅱ	2後			2		1				
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2		1				
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2		1				
	道徳教育の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3後			2						1
	教育の方法と技術	2後			2						1
	生徒・進路指導論	2前			2						1
	教育相談	2後			2						1
	教育実習指導	3前			1						3
	教育実習Ⅰ	3後			2						3
	教育実習Ⅱ	4前			2						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	介護等体験	2・3・4前・後			2						1
小計(19科目)	-	0	0	37	1	1	0	0	0	4	
合計(124科目)	-	84	100	37	7	7	1	7	0	44	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、必修科目84単位、選択科目40単位以上(教養基礎科目から18単位以上、専門教育科目から22単位以上)を修得し、124単位以上を修得すること。スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)を履修する場合は、1科目を選択履修すること。スポーツ心理学実験実習、スポーツ生理学実験実習、スポーツ社会学実験実習、スポーツバイオメカニクス実験実習の4科目から2科目を選択履修すること。											
(履修科目の登録の上限:44単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・時間割調整上の理由により、「哲学」の配当学期を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「心理学」の配当学期を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前・後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「経済学」の配当学期を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「コミュニケーション論」の配当学期を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「プレゼンテーション論」の配当学期を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語Ⅰ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語Ⅱ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語コミュニケーションⅠ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語コミュニケーションⅡ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「スポーツⅠ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教4」から「講師1」・「助教5」に変更し、その後履修者数に合わせてクラス数を減じ開講するため、「講師1」・「助教5」から「講師0」・「助教4」に再度変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「スポーツⅡ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教4」から「講師1」・「助教5」に変更し、その後履修者数に合わせてクラス数を減じ開講するため、「講師1」・「助教5」から「講師0」・「助教4」に再度変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「情報処理基礎Ⅰ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「情報処理基礎Ⅱ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。</li><li>・留意事項に対応するため、「リーダーシップ論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教7」に変更し、その後履修者数に合わせてクラス数を減じ開講するため、「教授6」・「准教授7」から「教授4」・「准教授5」に再度変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教7」に変更し、その後履修者数に合わせてクラス数を減じ開講するため、「教授6」・「准教授7」から「教授4」・「准教授5」に再度変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「スポーツと薬学」の配当学期を「1前」から「1後」に変更。</li><li>・留意事項に対応するため、「スポーツ経営・管理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅴ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅵ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・履修者数に合わせてクラス数を減じ開講するため、「スポーツ実技Ⅰ（体づくり運動）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「キャリア形成Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教7」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「キャリア形成Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教7」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅱ（スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ）」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に変更。</li><li>・留意事項に対応するため、「学校保健」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。</li><li>・留意事項に対応するため、「体育実技指導法Ⅴ（ダンス・体づくり運動）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「講師0」・「助教5」から「講師1」・「助教6」に変更。</li></ul>
---

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"><li>・教育体制の充実を図るため、「英語Ⅰ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語Ⅱ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語コミュニケーションⅠ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。</li><li>・教育体制の充実を図るため、「英語コミュニケーションⅡ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。</li><li>・履修者数に合わせてクラス数を減じて開講するため、「英語コミュニケーションⅢ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。</li><li>・履修者数に合わせてクラス数を減じて開講するため、「英語コミュニケーションⅣ」の兼任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担0」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「情報リテラシー」の配当学期を「2前」から「2後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「ヘルスプロモーション」の配当学期を「2前」から「2後」に変更。</li><li>・履修者数に合わせてクラス数を減じて開講するため、「専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。</li><li>・履修者数に合わせてクラス数を減じて開講するため、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。</li><li>・スポーツ実技Ⅲ（器械運動）の兼任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「スポーツバイオメカニクス」の配当学期を「2前」から「2後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「キャリア形成Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「キャリア形成Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教7」から「助教5」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「エイジング論」の配当学期を「2前」から「2後」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「発育発達論」の配当学期を「2後」から「2前」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「教育心理学」の配当学期を「2後」から「2前」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「保健体育科教育法Ⅰ」の配当学期を「3前」から「2前」に変更。</li><li>・時間割調整上の理由により、「保健体育科教育法Ⅱ」の配当学期を「3後」から「2後」に変更。</li></ul>
---

【令和元年度】

・時間割調整上の理由により、「政治学」の配当学期を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」・「准教授5」・「助教7」から「教授5」・「准教授4」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」・「准教授5」・「助教7」から「教授5」・「准教授4」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「専門演習Ⅵ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「講師0」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「講師1」・「助教8」に変更。
・留意事項に対応するため、「スポーツ実技Ⅸ（柔道、剣道）」の専任教員等の配置を「兼任1」から「助教1」・「兼任1」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「インターンシップⅡ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「助教8」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「キャリア形成Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」から「教授6」・「准教授5」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「キャリア形成Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」から「教授6」・「准教授5」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「スポーツ実技Ⅺ」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授5」・「助教6」から「教授6」・「准教授4」・「助教8」に変更。
・安全教育的の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
・教育体制の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」・「准教授6」・「助教6」から「教授6」・「准教授5」・「助教8」に変更。

- (注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
48 科目	57 科目	19 科目	124 科目	48 科目 [ 0 ]	57 科目 [ 0 ]	19 科目 [ 0 ]	124 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{124} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	朝日大学歯科衛生士 専門学校（必要面積 860㎡）と共用					
	校舎敷地	12,489.43㎡	49,382.88㎡	-	61,872.31㎡						
	運動場用地	12,920.00㎡	55,204.00㎡	-	68,124.00㎡						
	小 計	25,409.43㎡	104,586.88㎡	-	129,996.31㎡						
	そ の 他	8,410.48㎡	13,433.00㎡	-	21,843.48㎡						
合 計	33,819.91㎡	118,019.88㎡	-	151,839.79㎡	230人 収容定員：220人 ※借用地面積： 432.00㎡ 貸与者： 松波利子、松波節子 借用期間： 平成11年4月1日から満20か年						
(2) 校 舎	専 用	49,415.42㎡	1,864.83㎡	1,670.34㎡	52,950.59㎡	朝日大学歯科衛生士専門学校 （必要面積800㎡）と共用					
		49,377.76㎡					1,670.34㎡	52,914.93㎡			
		(49,415.42㎡)	(1,864.83㎡)	(1,670.34㎡)	(52,950.59㎡)	230人 収容定員：220人 健康スポーツ科学科へ用途変 更に伴う増加(29)					
		<del>(49,377.76㎡)</del>			<del>(52,914.93㎡)</del>						
(3) 教 室 等	講義室	55室	演習室	27室	実験実習室	22室	情報処理学習施設	5室	語学学習施設	2室	大学全体
		59室		26室			(補助職員5人)		(補助職員1人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			申請学科全体				
	保健医療学部健康スポーツ科学科			20 18 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共有分 279,126冊 279,588冊 278,658冊 278,124冊 3,366種 3,359種 3,303種 3,315種 8,423種 8,371種 電子ジャーナル 7,666種 8種 7種 データベース 10種			
		(うち外国書)	(うち外国書)						(うち外国書)	冊	種
	保健医療学部健康スポーツ科学科	3,000 [200]	37 [5]	3 [3]	200	1,572	0		電子ジャーナル		
		(3,262 [210])			216	1,560					
		(3,037 [200])			107	1,572			データベース		
	(1,840 [180])	(37 [5])	( 3 [3])	100	1,560	0					
	(1,830 [180])										
	計	3,000 [200]	37 [5]	4 [4] 3 [3]	200	1,572 1,560	0	教育研究の充実を図るため図書を追加した。(元)			
		(3,037 [200])			216			教育研究の充実を図るため機械・器具を追加した。(30)			
		(1,840 [180])	(37 [5])	(4 [4]) (3 [3])	107	1,572	0	整備内容を一部変更した。教育研究上支障はない。(29)			
		(1,830 [180])			100	1,560					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 分室ラウンジ「モリス」設置のための 改修により収納可能冊数が 減少(30) 欄増設により収納可能冊数が 増加した。(29)				
	2,696.15㎡ 2,631.0㎡		376席 364席 362席		302,525冊 310,350冊 310,225冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	2,514.05㎡ 1,962.9㎡		剣道場、相撲場、卓球場、フェンシング場等								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※共同研究費等は大学全体 ※図書購入費には、電子 ジャーナル、データベースの 整備費（運用コストを含 む。）を含む。			
		教員1人当り研究費等	746千円 641千円	641千円	図書購入費	16,335千円	16,602千円		4,155千円		
	共同研究費等	15,000千円	15,000千円	設備購入費	222,510千円 225,265千円	5,310千円	5,310千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	開設時のスタートアップに係 る研究費負担を考慮し 増額した。(29)			
		1,315千円	1,015千円	1,015千円	1,015千円	- 千円	- 千円	業者との価格交渉により 減額となった。(29)			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	朝日大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
法学部	4	80	-	320	-	1.19	-	昭和62年度	-	平成28年度より 入学定員減 (△70人)
法学科	4	80	-	320	学士 (法学)	1.19	-	昭和62年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
経営学部	4	100	-	420	-	1.17	-	昭和60年度	-	
経営学科	4	100	-	420	学士 (経営学)	1.17	-	昭和60年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
ビジネス企画学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	平成14年度	同上	
保健医療学部	4	200	-	680	-	1.13	-	平成26年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	-	平成26年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
健康スポーツ科	4	120	-	360	学士 (健康スポーツ科学)	1.13	-	平成29年度	同上	
歯学部	6	140	-	840	-	0.91	-	昭和46年度	-	
歯学科	6	140	-	840	学士 (歯学)	0.91	-	昭和46年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
大学全体	6	520	-	2260	-	1.10	-	-	-	

  

大学の名称	朝日大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
法学研究科 法学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	-	0.10	-	平成4年度	-	平成26年度より 入学定員変更 (20→10)
	2	10	-	20	修士 (法学)	0.10	-	平成4年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
経営学研究科 経営学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	-	0.00	-	平成7年度	-	
	2	10	-	20	修士 (経営学)	0.00	-	平成7年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
歯学研究科 歯学専攻 (博士課程)	4	18	-	72	-	0.77	-	昭和52年度	-	
	4	18	-	72	博士 (歯学)	0.77	-	昭和52年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
大学院全体	4	38	-	112	-	0.29	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 健康スポーツ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専 教授		竹島 伸生 (51) <平成28年4月> 医学博士	竹島 伸生 (51) <平成28年4月> 医学博士	竹島 伸生 (52) <平成28年4月> 医学博士	竹島 伸生 (52) <平成28年4月> 医学博士	竹島 伸生 (53) <平成28年4月> 医学博士	竹島 伸生 (53) <平成28年4月> 医学博士
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
		基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ
		ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション
		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ
		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ
		専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ
		専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ
		専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ
		インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ
		インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ
	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	
	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	
	エイジング論	エイジング論	エイジング論	エイジング論	エイジング論	エイジング論	
	健康運動論	健康運動論	健康運動論	健康運動論	健康運動論	健康運動論	
	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)
	発育発達論	発育発達論	発育発達論	発育発達論	発育発達論	発育発達論	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	
専 教授		白石 豊 (53) <平成28年4月> 体育学修士	白石 豊 (53) <平成28年4月> 体育学修士	白石 豊 (54) <平成28年4月> 体育学修士	白石 豊 (54) <平成28年4月> 体育学修士	白石 豊 (55) <平成28年4月> 体育学修士	白石 豊 (55) <平成28年4月> 体育学修士
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
		基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ
		運動学(含、運動方法学)	運動学(含、運動方法学)	運動学(含、運動方法学)	運動学(含、運動方法学)	運動学(含、運動方法学)	運動学(含、運動方法学)
		メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)	メンタルマネジメント(含、スポーツ心理学)
		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ
		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ
		専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ
		専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ
		専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ
		スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)
	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	
	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	
	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	
	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	
	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	
	スポーツ心理学実験実習	スポーツ心理学実験実習	スポーツ心理学実験実習	スポーツ心理学実験実習	スポーツ心理学実験実習	スポーツ心理学実験実習	
	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	体育実技指導法Ⅳ(器械運動)	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究	
専 教授		奥山 徹 (58) <平成28年4月> 理学博士	奥山 徹 (58) <平成28年4月> 理学博士	奥山 徹 (60) <平成28年4月> 理学博士	奥山 徹 (60) <平成28年4月> 理学博士	奥山 徹 (61) <平成28年4月> 理学博士	奥山 徹 (61) <平成28年4月> 理学博士
		情報処理基礎Ⅰ	情報処理基礎Ⅰ	情報処理基礎Ⅰ	情報処理基礎Ⅰ	情報処理基礎Ⅰ	情報処理基礎Ⅰ
		情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅱ
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	
専 教授		今泉 佳寛 (54) <平成28年4月> 博士(医学)	今泉 佳寛 (54) <平成28年4月> 博士(医学)	今泉 佳寛 (55) <平成28年4月> 博士(医学)	今泉 佳寛 (55) <平成28年4月> 博士(医学)	今泉 佳寛 (56) <平成28年4月> 博士(医学)	今泉 佳寛 (56) <平成28年4月> 博士(医学)
		スポーツ医学 運動器の機能解剖学	スポーツ医学 運動器の機能解剖学	スポーツ医学 運動器の機能解剖学	スポーツ医学 運動器の機能解剖学	スポーツ医学 運動器の機能解剖学	スポーツ医学 運動器の機能解剖学



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	准教授	山本 美弘 (61) <平成29年4月> 体育学修士	山本 美弘 (61) <平成29年4月> 体育学修士	山本 美弘 (62) <平成29年4月> 体育学修士	山本 美弘 (63) <平成29年4月> 体育学修士
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
		基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ
		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ
		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ
		専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ
		専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ
		専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ
		スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)	スポーツ実技Ⅴ(ラグビーフットボール、サッカー)
		スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス
		インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ
		インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ
		キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ
		キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ
		スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)
		スポーツバイオメカニクス実験実習	スポーツバイオメカニクス実験実習	スポーツバイオメカニクス実験実習	スポーツバイオメカニクス実験実習
		卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究
専任	准教授	菅嶋 康浩 (56) <平成29年4月> 博士(体育学)	菅嶋 康浩 (56) <平成29年4月> 博士(体育学)	菅嶋 康浩 (57) <平成29年4月> 博士(体育学)	菅嶋 康浩 (58) <平成29年4月> 博士(体育学)
		スポーツ科学入門	スポーツ科学入門	スポーツ科学入門	スポーツ科学入門
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
		基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ
		専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅰ
		専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ
		専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ	専門演習Ⅲ
		専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ	専門演習Ⅳ
		専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ	専門演習Ⅴ
		専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ	専門演習Ⅵ
		スポーツ生理学	スポーツ生理学	スポーツ生理学	スポーツ生理学
		インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ	インターンシップⅠ
		インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ	インターンシップⅡ
		キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅰ
		キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ	キャリア形成Ⅱ
		スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	スポーツ実技Ⅹ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)
		スポーツ生理学実験実習	スポーツ生理学実験実習	スポーツ生理学実験実習	スポーツ生理学実験実習
		卒業研究	卒業研究	卒業研究	卒業研究
専任	准教授	松井 かおり (50) <平成29年4月> 博士(学術)	松井 かおり (51) <平成29年4月> 博士(学術)	松井 かおり (52) <平成29年4月> 博士(学術)	松井 かおり (53) <平成29年4月> 博士(学術)
		英語Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅰ	英語Ⅰ
		英語Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅱ	英語Ⅱ
		英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ
		英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ
		英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅣ	英語コミュニケーションⅣ
		基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅰ
		基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ	基礎演習Ⅱ

専任・兼任・准任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・准任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・准任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・准任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
	角田 和代 (50) <平成29年4月> 修士(教育学)			角田 和代 (50) <平成29年4月> 修士(教育学)			角田 和代 (51) <平成29年4月> 修士(教育学)			角田 和代 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)	
	基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ	
	基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ	
	専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ	
	専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ	
	専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ	
	専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ	
	専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ	
	専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ	
	スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)	
	インターンシップⅠ			インターンシップⅠ			インターンシップⅠ			インターンシップⅠ	
	インターンシップⅡ			インターンシップⅡ			インターンシップⅡ			インターンシップⅡ	
専	准教授		専	准教授		専	准教授		専	准教授	
	キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ	
	キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ	
	生涯スポーツ論			生涯スポーツ論			生涯スポーツ論			生涯スポーツ論	
	スポーツマネジメント			スポーツマネジメント			スポーツマネジメント			スポーツマネジメント	
	レクリエーション指導実習Ⅰ			レクリエーション指導実習Ⅰ			レクリエーション指導実習Ⅰ			レクリエーション指導実習Ⅰ	
	レクリエーション指導実習Ⅱ			レクリエーション指導実習Ⅱ			レクリエーション指導実習Ⅱ			レクリエーション指導実習Ⅱ	
	野外活動論			野外活動論			野外活動論			野外活動論	
	スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅱ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	
	スポーツ社会学実験実習			スポーツ社会学実験実習			スポーツ社会学実験実習			スポーツ社会学実験実習	
	卒業研究			卒業研究			卒業研究			卒業研究	
	保健体育科教育法Ⅱ			保健体育科教育法Ⅱ			保健体育科教育法Ⅱ			保健体育科教育法Ⅱ	
	保健体育科教育法Ⅲ			保健体育科教育法Ⅲ			保健体育科教育法Ⅲ			保健体育科教育法Ⅲ	
	保健体育科教育法Ⅳ			保健体育科教育法Ⅳ			保健体育科教育法Ⅳ			保健体育科教育法Ⅳ	
	本田 亜紀子 (44) <平成29年4月> 博士(体育学)			本田 亜紀子 (44) <平成29年4月> 博士(体育学)			本田 亜紀子 (45) <平成29年4月> 博士(体育学)			本田 亜紀子 (46) <平成29年4月> 博士(体育学)	
	基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ			基礎演習Ⅰ	
	基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ			基礎演習Ⅱ	
	専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ			専門演習Ⅰ	
	専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ			専門演習Ⅱ	
	専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ			専門演習Ⅲ	
	専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ			専門演習Ⅳ	
	専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ			専門演習Ⅴ	
	専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ			専門演習Ⅵ	
	スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)			スポーツ実技Ⅰ(体つくり運動)	
	スポーツ実技Ⅳ(陸上)			スポーツ実技Ⅳ(陸上)			スポーツ実技Ⅳ(陸上)			スポーツ実技Ⅳ(陸上)	
	スポーツ実技Ⅵ(硬式テニス、卓球)			スポーツ実技Ⅵ(硬式テニス、卓球)			スポーツ実技Ⅵ(硬式テニス、卓球)			スポーツ実技Ⅵ(硬式テニス、卓球)	
	トレーニング論			トレーニング論			トレーニング論			トレーニング論	
	コンディショニング論			コンディショニング論			コンディショニング論			コンディショニング論	
	インターンシップⅠ			インターンシップⅠ			インターンシップⅠ			インターンシップⅠ	
	インターンシップⅡ			インターンシップⅡ			インターンシップⅡ			インターンシップⅡ	
	キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ			キャリア形成Ⅰ	
	キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ			キャリア形成Ⅱ	
	女性とスポーツ			女性とスポーツ			女性とスポーツ			女性とスポーツ	
	アスレティックトレーナー概論			アスレティックトレーナー概論			アスレティックトレーナー概論			アスレティックトレーナー概論	
	健康運動指導法			健康運動指導法			健康運動指導法			健康運動指導法	
	アスレティックリハビリテーション論			アスレティックリハビリテーション論			アスレティックリハビリテーション論			アスレティックリハビリテーション論	
	スポーツ実技Ⅲ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅲ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅲ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)			スポーツ実技Ⅲ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ)	
	スポーツ生理学実験実習			スポーツ生理学実験実習			スポーツ生理学実験実習			スポーツ生理学実験実習	
	卒業研究			卒業研究			卒業研究			卒業研究	
専	准教授		専	准教授		専	准教授		専	准教授	







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									専	助教	窪田 友樹 (31) <平成31年4月> 修士(体育学)  スポーツⅠ スポーツⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 専門演習Ⅴ 専門演習Ⅵ スポーツ実技Ⅹ(柔道、剣道) インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリア形成Ⅰ キャリア形成Ⅱ スポーツ実技Ⅺ(スキー、キャンプ、アウトドアスポーツ) 体育実技指導法Ⅲ(格技) 卒業研究
兼任	教授	大友 克之 (50) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大友 克之 (50) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大友 克之 (51) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大友 克之 (52) <平成29年4月> 博士(医学)
		建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活
兼任	教授	森下 伊三男 (65) <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	森下 伊三男 (65) <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	森下 伊三男 (66) <平成29年4月> 理学博士	兼任	教授	森下 伊三男 (67) <平成29年4月> 理学博士
		建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活
兼任	教授	平田 勇人 (59) <平成29年4月> 法学修士	兼任	教授	平田 勇人 (59) <平成29年4月> 法学修士						
		建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活						
兼任	教授	岩崎 大介 (61) <平成29年4月> 経済学学士	兼任	教授	岩崎 大介 (61) <平成29年4月> 経済学学士	兼任	教授	岩崎 大介 (62) <平成29年4月> 経済学学士	兼任	教授	岩崎 大介 (63) <平成29年4月> 経済学学士
		建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活
兼任	教授	杉島 正秋 (58) <平成29年4月> 法学修士	兼任	教授	杉島 正秋 (58) <平成29年4月> 法学修士	兼任	教授	杉島 正秋 (59) <平成29年4月> 法学修士	兼任	教授	杉島 正秋 (60) <平成29年4月> 法学修士
		建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活
						兼任	教授	大野 正博 (48) <平成30年4月> 博士(法学)	兼任	教授	大野 正博 (49) <平成30年4月> 博士(法学)
								建学の精神と社会生活			建学の精神と社会生活
兼任	教授	亀山 泰永 (65) <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	亀山 泰永 (65) <平成29年4月> 医学博士	兼任	教授	亀山 泰永 (66) <平成29年4月> 医学博士	兼任	講師	亀山 泰永 (67) <平成29年4月> 医学博士
		生物学			生物学			生物学			生物学
兼任	教授	柴山 富恵子 (67) <平成29年4月> 経済学修士	兼任	講師	柴山 富恵子 (67) <平成29年4月> 経済学修士	兼任	講師	柴山 富恵子 (68) <平成29年4月> 経済学修士	兼任	講師	柴山 富恵子 (69) <平成29年4月> 経済学修士
		統計学			統計学			統計学			統計学
兼任	教授	常川 良史 (49) <平成29年4月> 法学学士	兼任	教授	常川 良史 (49) <平成29年4月> 法学学士	兼任	教授	常川 良史 (50) <平成29年4月> 法学学士	兼任	教授	常川 良史 (51) <平成29年4月> 法学学士
		コミュニケーション論			コミュニケーション論			コミュニケーション論			コミュニケーション論
		プレゼンテーション論			プレゼンテーション論			プレゼンテーション論			プレゼンテーション論
兼任	教授	柏俣 正典 (58) <平成29年4月> 歯学博士	兼任	教授	柏俣 正典 (58) <平成29年4月> 歯学博士	兼任	教授	柏俣 正典 (59) <平成29年4月> 歯学博士	兼任	教授	柏俣 正典 (60) <平成29年4月> 歯学博士
		スポーツと薬学			スポーツと薬学			スポーツと薬学			スポーツと薬学
兼任	教授	都尾 元宣 (59) <平成30年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	都尾 元宣 (58) <平成30年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	都尾 元宣 (59) <平成30年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	都尾 元宣 (60) <平成30年4月> 博士(歯学)
		スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学
兼任	教授	飯沼 光生 (62) <平成30年4月> 歯学博士	兼任	教授	飯沼 光生 (61) <平成30年4月> 歯学博士	兼任	教授	飯沼 光生 (62) <平成30年4月> 歯学博士	兼任	教授	飯沼 光生 (63) <平成30年4月> 歯学博士
		スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学			スポーツ歯科医学
兼任	教授	出口 一樹 (66) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 一樹 (64) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 一樹 (65) <平成31年4月> 医学博士	兼任	教授	出口 一樹 (66) <平成31年4月> 医学博士
		衛生・公衆衛生学			衛生・公衆衛生学			衛生・公衆衛生学			衛生・公衆衛生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	小川 信幸 (72) ＜平成31年4月＞ 商学学士	兼任	教授	小川 信幸 (70) ＜平成31年4月＞ 商学学士	兼任	教授	小川 信幸 (71) ＜平成31年4月＞ 商学学士	兼任	教授	小川 信幸 (72) ＜平成31年4月＞ 商学学士
		教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ			教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ			教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ			教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ
兼任	教授	下野 正代 (66) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)	兼任	教授	下野 正代 (67) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)	兼任	教授	下野 正代 (68) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)	兼任	教授	下野 正代 (69) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		教育心理学 教育相談 介護等体験			教育心理学 教育相談 介護等体験			教育相談 介護等体験			教育相談 介護等体験
兼任	准教授	前谷 和則 (62) ＜平成29年4月＞ 文学修士	兼任	准教授	前谷 和則 (62) ＜平成29年4月＞ 文学修士	兼任	准教授	前谷 和則 (63) ＜平成29年4月＞ 文学修士	兼任	准教授	前谷 和則 (64) ＜平成29年4月＞ 文学修士
		歴史学			歴史学			歴史学			歴史学
兼任	准教授	佐納 康治 (53) ＜平成29年4月＞ 博士(理学)	兼任	准教授	佐納 康治 (54) ＜平成29年4月＞ 博士(理学)	兼任	准教授	佐納 康治 (55) ＜平成29年4月＞ 博士(理学)	兼任	准教授	佐納 康治 (56) ＜平成29年4月＞ 博士(理学)
		物理学 異文化理解			物理学 異文化理解			物理学 異文化理解			物理学 異文化理解
兼任	准教授	神谷 真子 (56) ＜平成29年4月＞ 修士(薬学)	兼任	准教授	神谷 真子 (56) ＜平成29年4月＞ 修士(薬学)	兼任	准教授	神谷 真子 (57) ＜平成29年4月＞ 修士(薬学)	兼任	准教授	神谷 真子 (58) ＜平成29年4月＞ 修士(薬学)
		化学			化学			化学			化学
兼任	准教授	西 善也 (44) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)	兼任	准教授	西 善也 (44) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)	兼任	准教授	西 善也 (45) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)	兼任	准教授	西 善也 (46) ＜平成29年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	灰田 有 (60) ＜平成29年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	灰田 有 (60) ＜平成29年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	灰田 有 (61) ＜平成29年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	灰田 有 (62) ＜平成29年4月＞ 教育学修士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	新井 祐子 (43) ＜平成29年4月＞ 学士(体育学)	兼任	准教授	新井 祐子 (43) ＜平成29年4月＞ 学士(体育学)	兼任	准教授	新井 祐子 (44) ＜平成29年4月＞ 学士(体育学)	兼任	准教授	新井 祐子 (45) ＜平成29年4月＞ 学士(体育学)
		健康・体力科学 スポーツⅠ スポーツⅡ			健康・体力科学 スポーツⅠ スポーツⅡ			健康・体力科学 スポーツⅠ スポーツⅡ			健康・体力科学 スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	准教授	矢守 恭子 (44) ＜平成29年4月＞ 博士(情報管理学)	兼任	教授	矢守 恭子 (44) ＜平成29年4月＞ 博士(情報管理学)	兼任	教授	矢守 恭子 (43) ＜平成29年4月＞ 博士(情報管理学)	兼任	教授	矢守 恭子 (46) ＜平成29年4月＞ 博士(情報管理学)
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	准教授	足立 淳 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(教育学)	兼任	准教授	足立 淳 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(教育学)	兼任	准教授	足立 淳 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(教育学)	兼任	准教授	足立 淳 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(教育学)
		教育課程論 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 教育の方法と技術 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			教育課程論 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 教育の方法と技術 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			教育課程論 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			教育課程論 道徳教育の指導法 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	講師	小林 祐紀 (30) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)	兼任	講師	小林 祐紀 (30) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)	兼任	講師	小林 祐紀 (30) ＜平成29年4月＞ 修士(法学)			
		法学(含、日本国憲法)			法学(含、日本国憲法)			法学(含、日本国憲法)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	片山 和則 (32) <平成29年4月> 修士(政治学)	片山 和則 (32) <平成29年4月> 修士(政治学)		
		政治学	政治学		
兼任	講師	壁谷 順之 (42) <平成29年4月> 博士(政策科学)	壁谷 順之 (42) <平成29年4月> 博士(政策科学)	兼任	准教授
		経済学	経済学		経済学
兼任	講師	曾我部 雄樹 (40) <平成29年4月> 博士(情報管理学)	曾我部 雄樹 (40) <平成29年4月> 博士(情報管理学)	兼任	准教授
		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ
兼任	講師	中野 万葉子 (37) <平成31年4月> 修士(法学)			
		スポーツと法			
兼任	講師	山下 康太郎 (36) <平成29年4月> 修士(日本文化)	山下 康太郎 (36) <平成29年4月> 修士(日本文化)	兼任	准教授
		教職入門 教育原理 教育制度論 生徒・進路指導論 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	教職入門 教育原理 教育制度論 生徒・進路指導論 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)		教職入門 教育原理 教育制度論 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	助教	渡邊 一弘 (36) <平成30年4月> 博士(歯学)	渡邊 一弘 (35) <平成30年4月> 博士(歯学)	兼任	助教
		スポーツ歯科医学	スポーツ歯科医学		スポーツ歯科医学
			兼任	講師	亀田 研 (42) <平成29年4月> 修士(心理学)
					心理学 教育心理学
兼任	講師	舘 成生 (66) <平成29年4月> 文学士	舘 成生 (66) <平成29年4月> 文学士	兼任	講師
		哲学	哲学		哲学
兼任	講師	原 政敏 (72) <平成29年4月> 文学士			
		心理学			
兼任	講師	林 秀樹 (44) <平成29年4月> 博士(薬学)	林 秀樹 (44) <平成29年4月> 博士(薬学)	兼任	講師
		スポーツと薬学	スポーツと薬学		スポーツと薬学
兼任	講師	小笠 康徳 (66) <平成29年4月> 歯学博士	小笠 康徳 (66) <平成29年4月> 歯学博士	兼任	講師
		解剖・生理学	解剖・生理学		解剖・生理学
兼任	講師	来田 享子 (53) <平成29年4月> 博士(体育学)	来田 享子 (53) <平成29年4月> 博士(体育学)	兼任	講師
		体育・スポーツ史	体育・スポーツ史		体育・スポーツ史
兼任	講師	岡本 教 (58) <平成30年4月> 体育学修士	岡本 教 (57) <平成30年4月> 体育学修士		
		スポーツ実技Ⅲ(器械運動)	スポーツ実技Ⅲ(器械運動)		
兼任	講師	鈴木 康博 (41) <平成30年4月> 体育学修士	鈴木 康博 (39) <平成30年4月> 体育学修士	兼任	講師
		スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)	スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)		スポーツ実技Ⅵ(ハンドボール、ソフトボール)
兼任	講師	米塚 曉 (35) <平成31年4月> 学士(社会教育学)	米塚 曉 (33) <平成31年4月> 学士(社会教育学)	兼任	講師
		スポーツ実技Ⅶ(硬式テニス、卓球)	スポーツ実技Ⅶ(硬式テニス、卓球)		スポーツ実技Ⅶ(硬式テニス、卓球)
兼任	講師	山本 浩貴 (54) <平成31年4月> 体育学学士	山本 浩貴 (52) <平成31年4月> 体育学学士	兼任	講師
		スポーツ実技Ⅸ(柔道、剣道)	スポーツ実技Ⅸ(柔道、剣道)		
兼任	講師	熊谷 佳代 (53) <平成31年4月> 体育学修士	熊谷 佳代 (52) <平成31年4月> 体育学修士	兼任	講師
		スポーツ実技Ⅹ(ダンス)	スポーツ実技Ⅹ(ダンス)		
				兼任	講師
					坂井 亮太 (35) <平成31年4月> 博士(政治学)
					政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	森 裕之 (53) <平成31年4月> 法学学士	兼任	講師	森 裕之 (51) <平成31年4月> 法学学士	兼任	講師	森 裕之 (52) <平成31年4月> 法学学士	兼任	講師	森 裕之 (53) <平成31年4月> 法学学士
		スポーツと法			スポーツと法			スポーツと法			スポーツと法
兼任	講師	大槻 洋也 (60) <平成30年4月> 体育学学士	兼任	講師	大槻 洋也 (61) <平成30年4月> 体育学学士						
		障がい者スポーツ論			障がい者スポーツ論						
		障がい者スポーツ論実習			障がい者スポーツ論実習						
兼任	講師	春日 晃章 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	春日 晃章 (49) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	春日 晃章 (50) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	講師	春日 晃章 (51) <平成31年4月> 博士(医学)
		体力測定評価法			体力測定評価法			体力測定評価法			体力測定評価法
			兼任	講師	Alexandra Corpora (32) <平成29年4月>						
					英語Ⅰ						
					英語Ⅱ						
					英語コミュニケーションⅠ						
					英語コミュニケーションⅡ						
兼任	講師	植田 智哲 (40) <平成29年4月> 博士(情報管理学)	兼任	講師	植田 智哲 (41) <平成29年4月> 博士(情報管理学)	兼任	講師	植田 智哲 (42) <平成29年4月> 博士(情報管理学)	兼任	講師	植田 智哲 (42) <平成29年4月> 博士(情報管理学)
		情報処理基礎Ⅰ			情報処理基礎Ⅰ			情報処理基礎Ⅰ			情報処理基礎Ⅰ
		情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅱ			情報処理基礎Ⅱ
兼任	講師	山田 宏 (72) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	山田 宏 (72) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	山田 宏 (73) <平成30年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	山田 宏 (73) <平成30年4月> 博士(教育学)
		生徒・進路指導論			生徒・進路指導論			特別活動の指導法			特別活動の指導法
								生徒・進路指導論			生徒・進路指導論
兼任	講師	荒賀 博志 (49) <平成30年4月> 体育学学士	兼任	講師	荒賀 博志 (49) <平成30年4月> 体育学学士	兼任	講師	荒賀 博志 (50) <平成30年4月> 体育学学士	兼任	講師	荒賀 博志 (50) <平成30年4月> 体育学学士
		障がい者スポーツ論			障がい者スポーツ論			障がい者スポーツ論			障がい者スポーツ論
		障がい者スポーツ論実習			障がい者スポーツ論実習			障がい者スポーツ論実習			障がい者スポーツ論実習
兼任	講師	Robison A. Jessica (36) <平成30年4月>	兼任	講師	Robison A. Jessica (36) <平成30年4月>	兼任	講師	Robison A. Jessica (36) <平成30年4月>			
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ
		英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	守本 結子 (36) <平成30年4月> 修士(学術)	兼任	講師	守本 結子 (36) <平成30年4月> 修士(学術)	兼任	講師	守本 結子 (37) <平成30年4月> 修士(学術)	兼任	講師	守本 結子 (37) <平成30年4月> 修士(学術)
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ
		英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	Irena Kudrhaltova (30) <平成31年4月>	兼任	講師	Irena Kudrhaltova (30) <平成31年4月>	兼任	講師	Irena Kudrhaltova (30) <平成31年4月>	兼任	講師	Irena Kudrhaltova (30) <平成31年4月>
		英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ			英語Ⅰ
		英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ			英語Ⅱ
		英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ			英語コミュニケーションⅠ
		英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ			英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	林 邦夫 (74) <平成31年4月> 健康教育学士	兼任	講師	林 邦夫 (74) <平成31年4月> 健康教育学士	兼任	講師	林 邦夫 (74) <平成31年4月> 健康教育学士	兼任	講師	林 邦夫 (74) <平成31年4月> 健康教育学士
		スポーツ実技Ⅰ(柔道、剣道)			スポーツ実技Ⅰ(柔道、剣道)			スポーツ実技Ⅰ(柔道、剣道)			スポーツ実技Ⅰ(柔道、剣道)
兼任	講師	大塚 貴史 (43) <平成31年4月> 体育学修士	兼任	講師	大塚 貴史 (43) <平成31年4月> 体育学修士	兼任	講師	大塚 貴史 (43) <平成31年4月> 体育学修士	兼任	講師	大塚 貴史 (43) <平成31年4月> 体育学修士
		安全教育			安全教育			安全教育			安全教育

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(特)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・留意事項を踏まえ、築瀬 歩教授の担当授業科目を追加。平成28年10月AC教員審査済み。
- ・教育体制の充実および留意事項を踏まえ、庄司 直人講師就任。平成28年12月AC教員審査済み。
- ・教育体制の充実および留意事項を踏まえ、土田 洋助教就任。平成28年10月AC教員審査済み。
- ・教育体制の充実および留意事項を踏まえ、安達 幹穂助教就任。平成28年12月AC教員審査済み。
- ・熊山 富恵子教授退職に伴い、兼任講師に就任。
- ・所属学部において昇任したため、矢守 恭子教授就任。
- ・所属学部において昇任したため、曾我部 雄樹准教授就任。
- ・時間割調整上の都合により、亀田 研講師を兼担として就任。
- ・教育体制の充実を図るため、Alexandra Corpora講師就任。
- ・教育体制の充実を図るため、横田 智哲講師就任。

【平成30年度】

- ・時間割調整上の都合により、平田勇人教授に代わり、大野正博教授を兼担として就任。
- ・時間割調整上の都合により、豊田ひさき教授就任。
- ・所属学部において昇任したため、整谷 順之准教授就任。
- ・中野 万葉子講師退職。「スポーツと法」(31年度開講)については、森 裕之講師のみで開講予定
- ・所属学部において昇任したため、山下廣太郎准教授就任。
- ・岡本 教講師辞任に伴い、「スポーツ実技Ⅲ(軽器械運動)」を白石 豊教授のみで開講。
- ・時間割調整上の都合により、山田 宏講師就任。
- ・大根 洋也講師辞任に伴い、荒賀 博志講師就任。
- ・Alexandra Corpora講師退職に伴い、Robison A. Jessica講師就任。
- ・教育体制の充実を図るため、守本 恭子講師就任。

【令和元年度】

- ・所属学部において昇任したため、菅嶋 康浩教授就任。平成30年6月AC教員審査済み。
- ・教育体制の充実および留意事項を踏まえ、窪田 友樹助教就任。平成30年8月AC教員審査済み。
- ・亀山 泰永教授退職に伴い、兼任講師に就任。
- ・小林 祐紀講師退職に伴い、下条 芳明教授就任。
- ・Robison A. Jessica講師退職に伴い、Irena Kudrhaltova講師就任。
- ・教育体制の充実を図るため、林 邦夫講師就任。
- ・教育体制の充実を図るため、大塚 貴史講師就任。
- ・片山 和則講師退職に伴い、後任として坂井 亮太講師(兼担)就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省路となっている場合は、「教員審査省路」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の教は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
13	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	7	0	5	19	8	6	1	8	23
(7)	(7)	(0)	(5)	(19)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	6	2	8	23	8	6	2	8	23
[ 1 ]	[ Δ 1 ]	[ 2 ]	[ 3 ]	[ 5 ]	[ 1 ]	[ Δ 1 ]	[ 2 ]	[ 3 ]	[ 5 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{19} = \boxed{121.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{23} = \boxed{8.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (28年)	・教員の補充を必要とされた6授業科目については、開設時又は科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項 ○平成28年10月AC教員審査済み 「学校保健」 土田洋助教で「可」の判定 「スポーツ経営・管理学」 築瀬歩教授で「可」の判定 ○平成28年12月AC教員審査済み 「リーダーシップ論」 庄司直人講師で「可」の判定 「体育実技指導法Ⅴ(ダンス・体づくり運動)」 安達詩穂助教で「可」の判定 ○平成30年8月AC教員審査済み 「スポーツ実技Ⅸ(柔道、剣道)」 ○担当者が未決定の科目 「安全教育」(3年前期)	履行中	担当者が未決定の科目「安全教育」については、専任教員に担当願うことでAC教員審査(令和元年6月)の受審手続きの準備を進めている。 なお、本年度については、兼任教員で対応。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部 健康スポーツ科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

<全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会

<学科委員会>朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会

年数回程度開催し、学長が指名した委員（副学長及び各学部等教員計11名）が参加している。

<学科委員会>朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科FD委員会

年数回程度開催し、学長が指名した本学科専任教員（3名）が参加している。

c 委員会の審議事項等

<全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会

- ・全学のFD活動の年間計画の策定に関すること
- ・全学の教員を対象とする研究会の実施に関すること
- ・授業参観の計画及び実施に関すること
- ・学生の授業評価に関するアンケート調査の実施に関すること
- ・FD活動報告書の作成及び公表に関すること
- ・学部等のFD活動推進委員会との連絡・調整に関すること
- ・その他学長からの意見を求められたFD活動に関すること

<学科委員会>朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科FD委員会

- ・全学FDの活動方針に基づき、本学科における授業の内容及び方法の改善を図るための研修並びに研究活動に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

<全学で実施するもの>

- ・授業改善のための学生の授業評価アンケート
- ・教員相互の授業参観
- ・教員研修会
- ・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

<学科委員会>朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科FD委員会

- ・教員研修会
- ・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣
- ・研究活動に関する情報収集及び周知

b 実施方法

<全学で実施するもの>

- ・授業改善のための学生の授業評価アンケート

下記③のとおり

・教員研修会

外部講師を招聘し、講演並びに情報交換等を実施する。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員派遣

掲示や回覧により研修会等の案内を行い、教員の積極的な参加を勧奨する。

<学科で実施するもの>

・授業評価アンケート結果の分析及び検証

委員会において授業評価アンケートの結果の分析処理を行い、全職員にフィードバックする。

・教員研修会

外部講師を招聘し、講演並びに情報交換等を実施する。

・学科で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

掲示や回覧により研修会等の案内を行い、教員の積極的な参加を勧奨する。

・研究活動に関する情報収集及び周知

掲示や回覧により研修会等の案内を行い、教員の積極的な参加を勧奨する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

<全学で実施するもの>

・授業改善のための学生の授業評価アンケート

下記③のとおり

・教員相互の授業参観

授業方法や受講者数等を考慮し、受け入れ可能な授業科目で参観受け入れを行った。

・教員研修会

毎年数回程度実施しており、毎回、100名を超える教員が参加している。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

適宜、実施している。

<学科で実施するもの>

・授業評価アンケート結果の分析及び検証

・教員研修会

適宜、実施する。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

適宜、実施する。

・研究活動に関する情報収集及び周知

適宜、実施する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開設3年目であることから、上記を基にした個々の教員の授業改善への具体的な取組みや成果の把握には至っていない。

改善意見や授業参観の積極的な実施の意見が教員から多く出されていること等から、授業改善への意識は高いと思われ、今後、各種結果等を踏まえ、授業改善への取組みを強化していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

主として各学期末(複数教員が分担して授業担当する場合は、学期途中に、適宜、実施)

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページに概要を公開しているほか、個々の教員に詳細をフィードバックしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健医療学部健康スポーツ科学科では、建学の精神にのっとり、社会の要請に応じて、研究対象とする中心分野を健康科学及びスポーツ科学の分野とし、これに関する教育研究を通して、健康科学やスポーツ科学に関する専門知識並びに高度なスポーツ実践技能及び指導技術さらに社会人としての豊かな学識と社会的技量を修得し、高い倫理観と豊かな人間性と国際性を兼ね備え、社会に貢献できる人材を養成することを目的としている。

##### ・ 教育課程

設置認可時の計画に沿って、予定の教育課程をすべて実施している。

なお、他学部との時間割調整上の理由等により、やむを得ず配当学期を変更した科目は、教育効果の面で問題や他の科目の学習への影響はなく、また、学生に対しては、オリエンテーション及び印刷物等により十分な周知を行うなど、不利益が生じないように留意した。

##### ・ 教員組織の編成

平成30年度開講科目までに就任予定の専任教員については、設置認可時に付された留意事項に基づき、配置済みである。

##### ・ 教育方法、履修指導方法

設置許可時の計画に沿って、教育及び履修指導に関する事項をすべて実施している。

##### ・ 施設、設備等の整備

認可許可時の計画に沿った内容で整備している。

なお、図書館の閲覧座席数の変更及び機械・器具の点数の変更があるが、学習効果向上を企図したものと設備の充実を図ったことに伴うものである。

##### ・ 管理運営

設置認可時の計画に沿って、教授会及び各種委員会を設置し、学校法人朝日大学管理運営基本規則に基づき適切に行っている。

##### ・ 情報の公表

設置認可時の計画に沿って、情報の公表を行っている。

##### ・ 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み

学科FD委員会を設置し、全体的な取組みに加えて、学科独自に取組みを実施していくことで計画を進めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成29年3月 公表

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に公益社団法人日本高等教育評価機構の評価を受審し、平成29年3月大学評価基準に適合しているとの認定を得た。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)	
a ホームページに公表(予定)の有無	( 有 ・ 無 )
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	( 令和元年10月1日 )
b 公表無の場合の特段の理由	( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。